

宮川の風 第46号

平成30年5月17日(木)発行
宮川小学校校長室からのたより

子どもたちは、真っ白いキャンパスの上に成長とともにいろんな色を付けていきます。たくさん経験をし、多くの人たちと関わり合うことでその色合いはカラフルで奥深いものになっていきます。不思議さに驚いた感情の色や喜びに沸く色、悲しみに沈む色など、キャンパスにはその子の人生を彩る色が次々と塗り込まれていきます。

感謝の色はどんな色なのでしょう。「ありがとう」という感謝の色を付けていくことは大切なことです。しかし、その色は、最初は教えられて色づけられるものだと思います。つまり、周囲の大人が感謝の場を教えなければ、子どもたちはどの場面で感謝すべきなのかは分かりません。「これは、あなたのために誰かがしてくれたこと。そのことに感謝しなさい。」という教えが、次第に子どもの心に感謝の気持ちを育てていくのです。

学校では、いろんな場面で「ありがとうございます(ました)」を教えています。指導して下さった方々や助けてくれたお友だち、見守ってくださる地域の方々などに、ちゃんと「ありがとうございます」と伝える場を設けています。また、家族への感謝の気持ちも機会を捉えて教えています。

裏面の話をお読みください。

母親の一言が、この子に感謝の気持ちとその伝え方を教えたのです。教えられた子どもは、相手に自分の気持ちを伝えることの大切さと喜びを感じたことでしょう。そして、それはこれからのいろんな場面で人に感謝し、感謝される行動へとつながっていくはずです。

ちょっとした大人の一言で、子どもたちの心の成長が増してきます。それぞれのキャンパスに美しい色が浮かんでくるはずですよ。

新潟県で起きたショッキングな事件は、近所に住む会社員の犯行でした。残忍な行為に、恐ろしさと憤りを感じます。

本校では、不審者への対応を子どもたちに改めて指導しました。1年生については、可能な限り集団で下校するよう指導しています。また、地域の方々との会合がある場合には、児童の下校時間に合わせた散歩や庭作業などを呼びかけたりしています。

不審者などの情報については、迅速さと共有することが重要です。保護者や地域の皆さんと連携を密にして、子どもたちの安全確保に努めていきましょう。



ある日のできごとから

宮川小学校に376人のミッキー登場!

音楽集会で一斉の合唱指導がありました。美しく響かせるためのこつは‘ミッキーマウス’の声で歌うこと。そこで、「おはようございます。ぼく、ミッキーだよ。」と全員がミッキーになりました。376人のミッキーは、かわいらしい声で歌っていました。

1年生が学校探検で校長室にもやってきました。普段はなかなか入ることのない校長室で、来客用のソファに座り、校長先生気分を味わいました。座り心地の良いソファにご満悦の1年生でした。2年生は、1年生を誘導したり、それぞれの部屋の前で説明をしたりと、大忙しの学校探検になりました。

学級や委員会の代表者が、諸活動の課題について話し合う代表委員会がありました。毎週木曜日に体育委員会が行うなわとび大会の参加者を増やす方法が議題になっていました。学級全員が参加する輪番を決めて参加者を増やす案が取り上げられました。あいさつ運動も輪番を決めることになりました。学校の活性化に子どもたちのアイデアが活かされています。

(文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二)